

令和4年度 箕面市行政視察報告書

(文教常任委員会)

1 日程 2023年1月24日(火) ～ 1月25日(水)

2 視察先

(1) 東京都杉並区

視察項目	平日の中学校の部活動における外部指導員の活用について
視察目的	杉並区学校施設の有効活用等に向けたモデル事業や地域運動部活動推進事業から、部活動における外部指導員、コーチ(部活動活性化事業)、部活動指導員(会計年度任用職員)の配置や業務内容、取り扱いの事例を学ぶ。

(2) 東京都渋谷区

視察項目	シブヤ「部活動改革」プロジェクトについて
視察目的	渋谷区の基本構想が《あたらしい未来像》として『ちがいをちからに変える街』となり、区民に根付いて動き出している。運動の習慣が人々の一部になり、誰もが楽しみながら健康を保っていけるようにと渋谷区スポーツ推進計画(2018-2022)が出されている。生徒のニーズに応える部の設置及び学校の働き方改革を見据えた部活動の地域移行を実現させるため、渋谷区では令和3年度から先行して、シブヤ「部活動改革プロジェクト」を実施。様々な報道もされ続けている先進事例を学ぶ。

3 参加者

委員	村川 真実委員長、川上 加津子委員、田中 真由美委員、 武智 秀生委員
----	--

(1) 東京都杉並区

項目	内容	備考
杉並区について	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 57 万 4280 人 (32 万 5518 世帯) ・武蔵野台地の上、東京 23 区の西端に位置 ・小学校 38 校、小・中一貫教育校 2 校 中学校 21 校 	説明 教育委員会
令和 4 年度の部活動モデル事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の新たな部活動支援モデル事業として小中一貫教育校である高円寺学園で、運動部活動の実技指導・顧問業務・大会引率を区外の民間事業者に委託した。令和 4 年 9 月末に生徒・保護者・教員向けにアンケート等を実施し、概ね良い評価を受けている。 ・区内中学校で、総合型スポーツクラブ（区内）と学校支援本部が実施主体となり、スポーツを楽しむことを目的として複数種目を体験できる「ゆる」部活をモデル実施中。今後は活動から得られた知見を生かし段階的に他校展開を進めていくことを検討中。 	同上



所感

- ・外部指導員（ボランティア）、コーチ（部活動活性化事業）、部活動指導員（会計年度任用職員）と、部活動支援に携わっていただいている中で、顧問業務や大会引率などの業務ができるのは、部活動指導員のみであり、大会運営や審判としても参加できず、規制緩和を求める動きがある。また、待遇の違いなど、国からの補助や実費を生徒から徴収するのか（今は無償）等、試行錯誤で取り組みをされている状況をよく伺いすることができた。
- ・指導者の確保は、とても難しく、国からの補助という大きな支援で改善していけるかが、まだ始まったばかりの改革であるため不明確であり、箕面市で導入を拡大していく際にも大きな課題になることが明確になった。
- ・民間事業者と区、学校を繋ぐコーディネーターの役割の重要性をご教授いただいた

文教常任委員会委員長 村川真実

(2) 東京都渋谷区

項目	内容	備考
渋谷区について	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 22 万 9412 人（14 万 597 世帯） ・23 区の西南に位置し、都全体から見れば東より、区部区域西南部の中心となっている。 ・小学校 17 校、小・中一貫教育校 1 校 中学校 7 校 	説明 教育委員会事務局 教育指導課長 スポーツ部スポーツ振興課長
渋谷ユナイテッドによる部活動の地域移行について	<ul style="list-style-type: none"> ・区長のトップダウンがきっかけで、シブヤ「部活動改革」プロジェクトを推進する体制として、一般社団法人渋谷ユナイテッドを設立、試行実施として 9 部活動を設置・運営。 ・渋谷区では、学校によって設置されていない部活動があり、例えばサッカー部では 8 校中、4 校のみ設置。4 校の生徒においては、部活動としてサッカーができない。文化部においては、生徒が活動したい部が少なく、女子や障がいのある生徒のニーズに配慮できていなかった。それを受け、部活動の合同化を推進。 ・現在の部活動は、教師の献身的な勤務によって支えられており、特に指導経験がない教師には長時間勤務の要因となり多大な負担となっていることから、負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組んでいる。 ・各部活動では、参加が集まりにくい状況のボッチャ、将棋、ラグビー以外は年会費を徴収している。自主事業で、空白地域で民間と競合しないようにスイミングスクール事業を展開し、自主財源の確保に取り組んでいる。 ・財源確保のため協カスポンサーも思案中。 	同上



所感

- ・サッカーは元日本代表をアドバイザーに、硬式テニスもスペシャルアドバイザーとして伊達公子氏、料理・スイーツマスターは服部栄養専門学校が支援事業者など、渋谷区だからこそできるラインナップに驚いたが、箕面市にもサントリーサンバーズ等、支援事業者として活躍いただけたらありがたい組織や人材は豊富にあるように思う。
- ・渋谷ユナイテッドでの活動が、大人になっても続けられるようにと、学校の部活動に留まらず、渋谷区の基本構想である「思わず身体を動かしたくなる街へ。」に沿った長生きできる街であると同時に、長生きしたくなる街になりたい、運動の習慣が人々の生活の一部になり、誰もが楽しみながら健康を保っていけるようにと柔軟な発想で展開をされている現状を、ご教授いただきました。
- ・中学校は私学への進学率が高く、クラブチームに入るなどが多い現状の中で、魅力あるこのシブヤ「部活動改革」プロジェクトで、地域部活動と協働して活性化を図る取組は画期的でした。
- ・お話を聞く中でも、これからの展開をいきいきと語られる区職員さんの姿は、まぶしく、子どもたちの様子も目に浮かぶようで、とても刺激を受ける事業でした。

文教常任委員会委員長 村川真実